

磁性材料カンパニー事業戦略

日立金属 IR Day 2016

2016年6月3日

日立金属株式会社

執行役 磁性材料カンパニープレジデント

赤田 良治

磁性材料カンパニー事業戦略

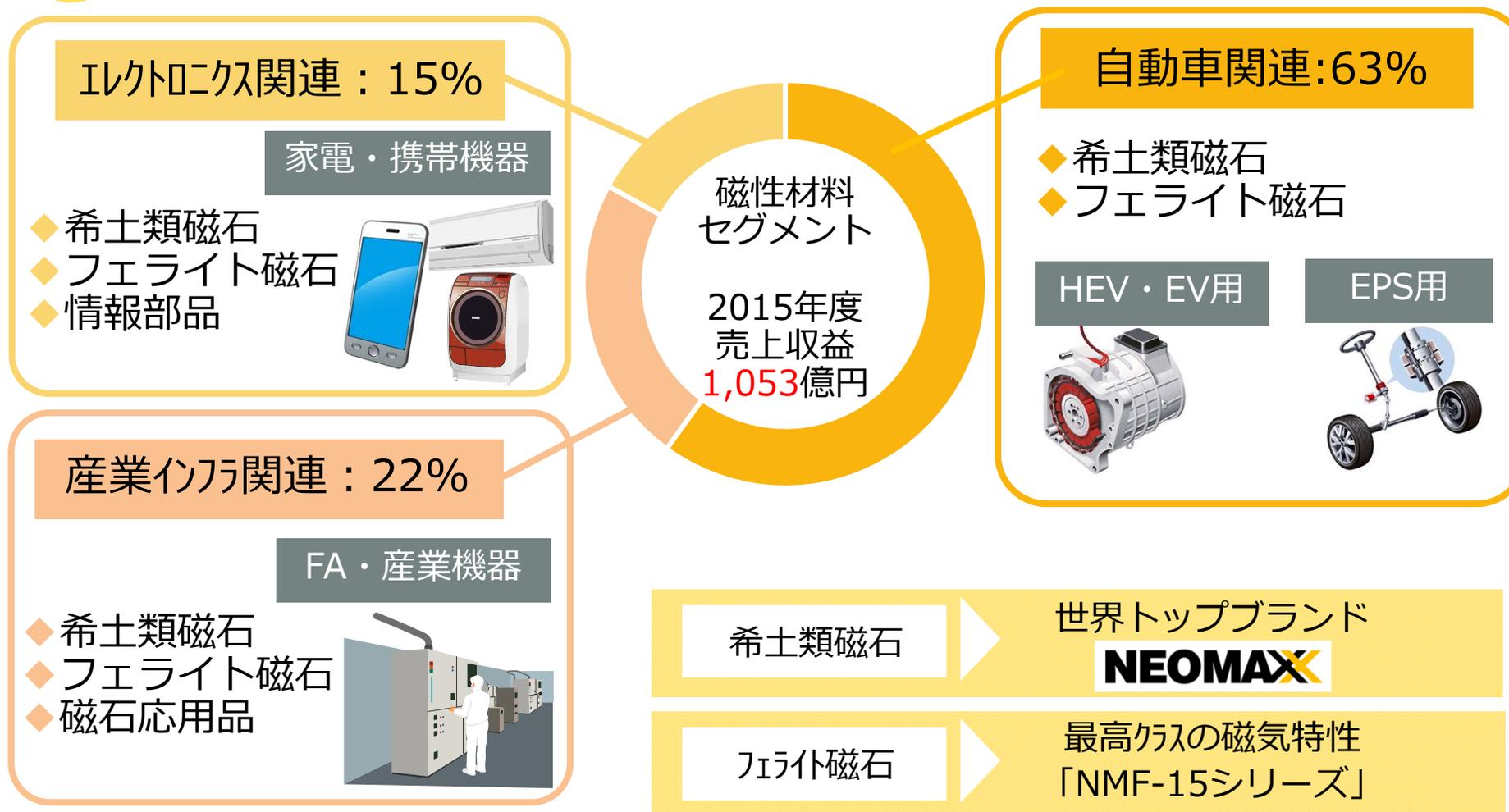
[目次]

1. 事業概要
2. 市場環境
3. 戦略・アクションプラン
4. 業績推移・目標
5. まとめ



1-1. 磁石業界における当社ポジション

幅広いラインナップの磁石製品を市場へ供給



■ 磁性材料カンパニー基本方針

モノづくり体制を「革新」し、成長への道筋づくり

- ◆ グローバル生産体制の強化
- ◆ 革新的生産ラインを構築

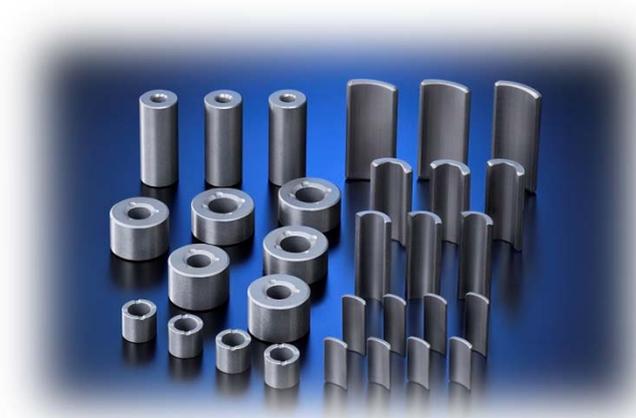
■ 2018中期経営計画 目標

	2015年度実績 (為替レート1\$=120円)	2018年度目標 (為替レート1\$=115円)	15年対比 増減
売上収益	1,053億円	1,320億円	125%
調整後営業利益	69億円	170億円	+101億円
調整後営業利益率	6.6%	12.9%	+6.3%
海外売上比率	59%	67%	+8%

磁性材料カンパニー事業戦略

[目次]

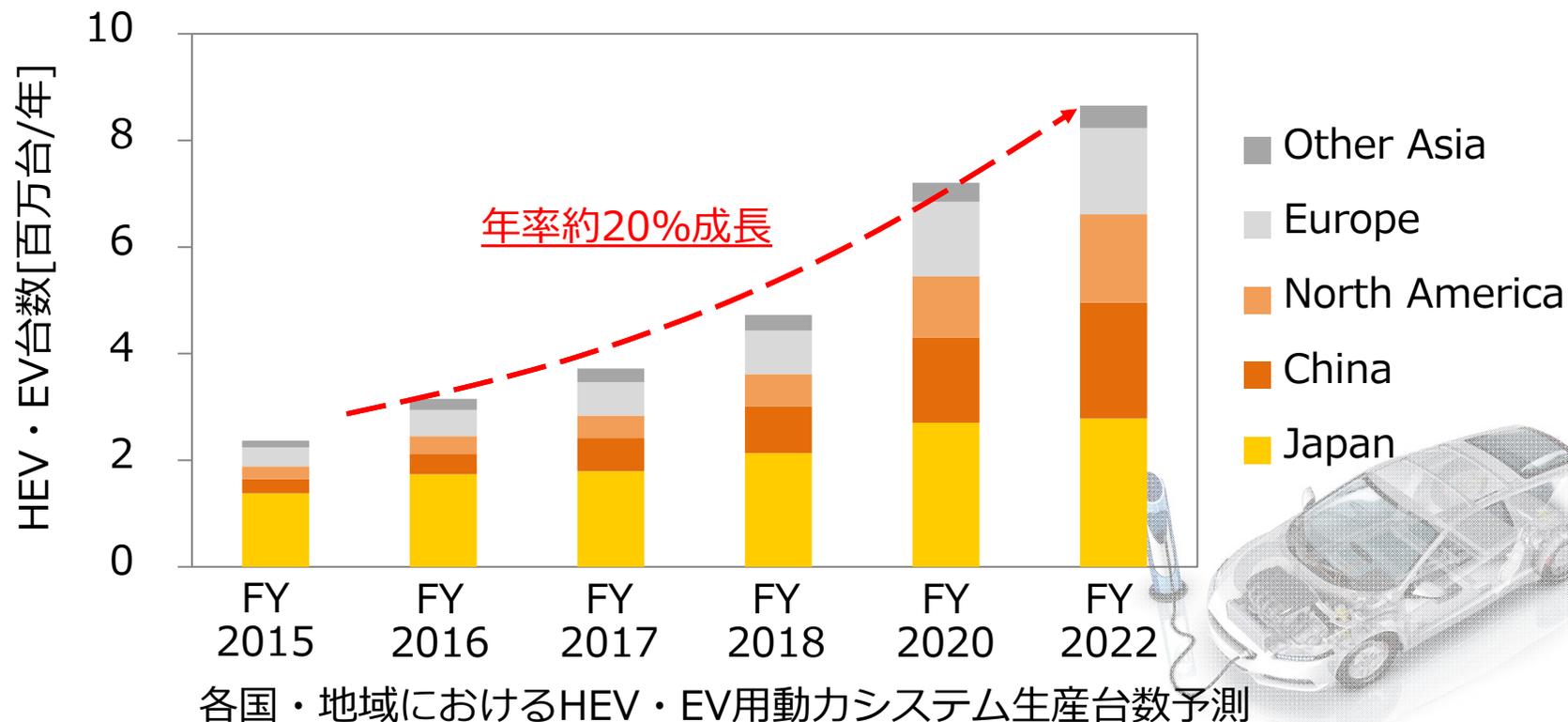
1. 事業概要
- 2. 市場環境**
3. 戦略・アクションプラン
4. 業績推移・目標
5. まとめ



2. 市場環境:HEV・EVの需要拡大

自動車関連市場

- ◆各国・地域によるCO₂排出規制や燃費規制に伴う環境意識の高まりから、HEV・EVの普及が進む。
- ◆中国・米国・欧州において、HEV・EVの生産が拡大する見通し。



(※) HEVはHybrid-Full

磁性材料カンパニー事業戦略

[目次]

1. 事業概要
2. 市場環境
3. **戦略・アクションプラン**
4. 業績推移・目標
5. まとめ



3-1. 戦略・アクションプラン①

希土類磁石事業

「グローバル生産体制の強化」

中国合併会社を設立

原材料調達から製造・販売までの一貫体制を構築。

会社名	日立金属三環磁材（南通）有限公司
所在地	中国江蘇省南通市
資本金	4.5億元（日立金属：51% 中科三環：49%）
生産能力	1,000トン/年（2017年度）⇒2,000トン/年
売上目標	100億円（2018年度）



「中国拠点の早期戦力化」と「国内拠点の集約」を推進

「革新的生産ラインを構築」

拡大するHEV・EVの需要に対応

顧客ニーズを先取りし、競争を凌駕するモノづくり体制へ

- ◆ 高性能自動化ライン
- ◆ I o T を活用したリアルデータ管理
(適正在庫管理、製造条件の自動制御)

生産の高効率化

- ・ リードタイムの短縮
- ・ 安定生産

- ◆ 競争力のある重希土類拡散技術
- ◆ 独自技術のリサイクルプロセス

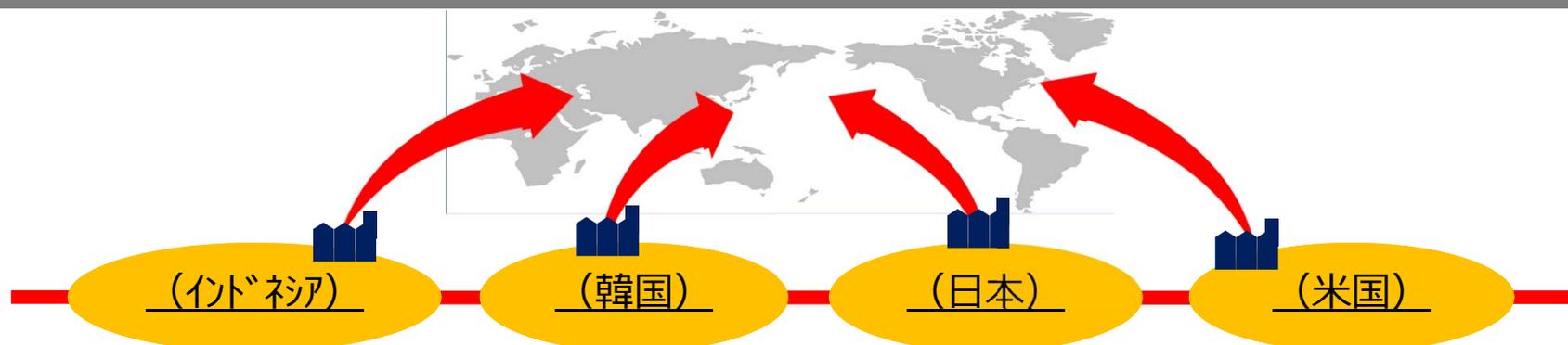
マテリアルフローの改善

フェライト磁石事業

「革新的生産ラインの横展開による規模拡大」

- 革新的生産ラインの固有技術をフェライト磁石にも展開。
- 生産ラインを再構築し、自動車分野の高品質要求や難易度の高い薄物・小物に対応。

生産技術力を全拠点へ展開し、High Quality製品をグローバルへ供給



3-4. 投資計画

「革新」を成し遂げるための必要投資

事業基盤
強化

- ◆ 中国合弁企業の展開
- ◆ 国内拠点で革新的な生産ラインを導入
 - ・ 重希土類拡散ライン
 - ・ I o T の導入
- ◆ 革新的な生産ラインのグローバル展開

■ 設備投資額：390億円（2016～2018年度累計）

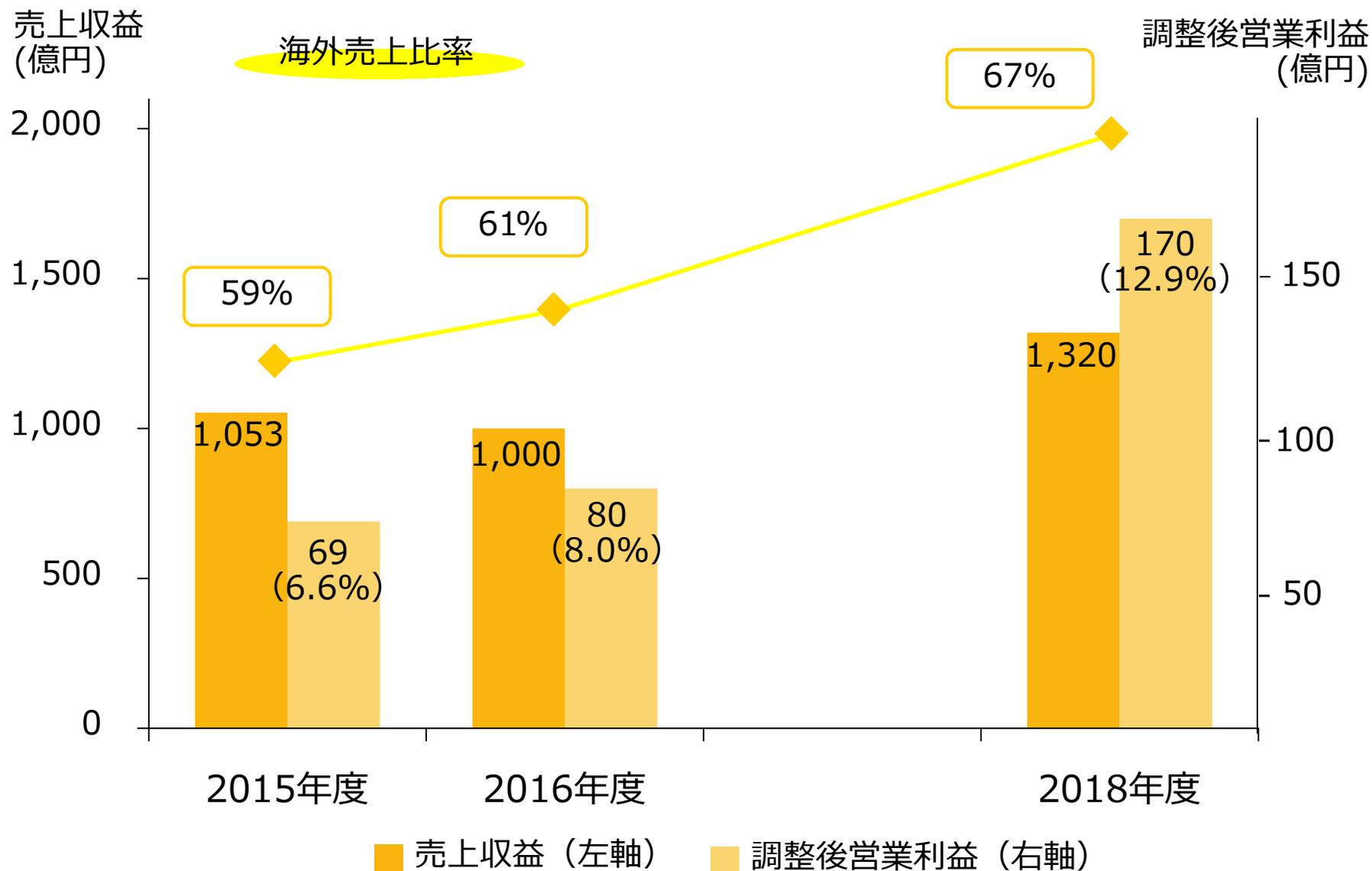
磁性材料カンパニー事業戦略

[目次]

1. 事業概要
2. 市場環境
3. 戦略・アクションプラン
- 4. 業績推移・目標**
5. まとめ

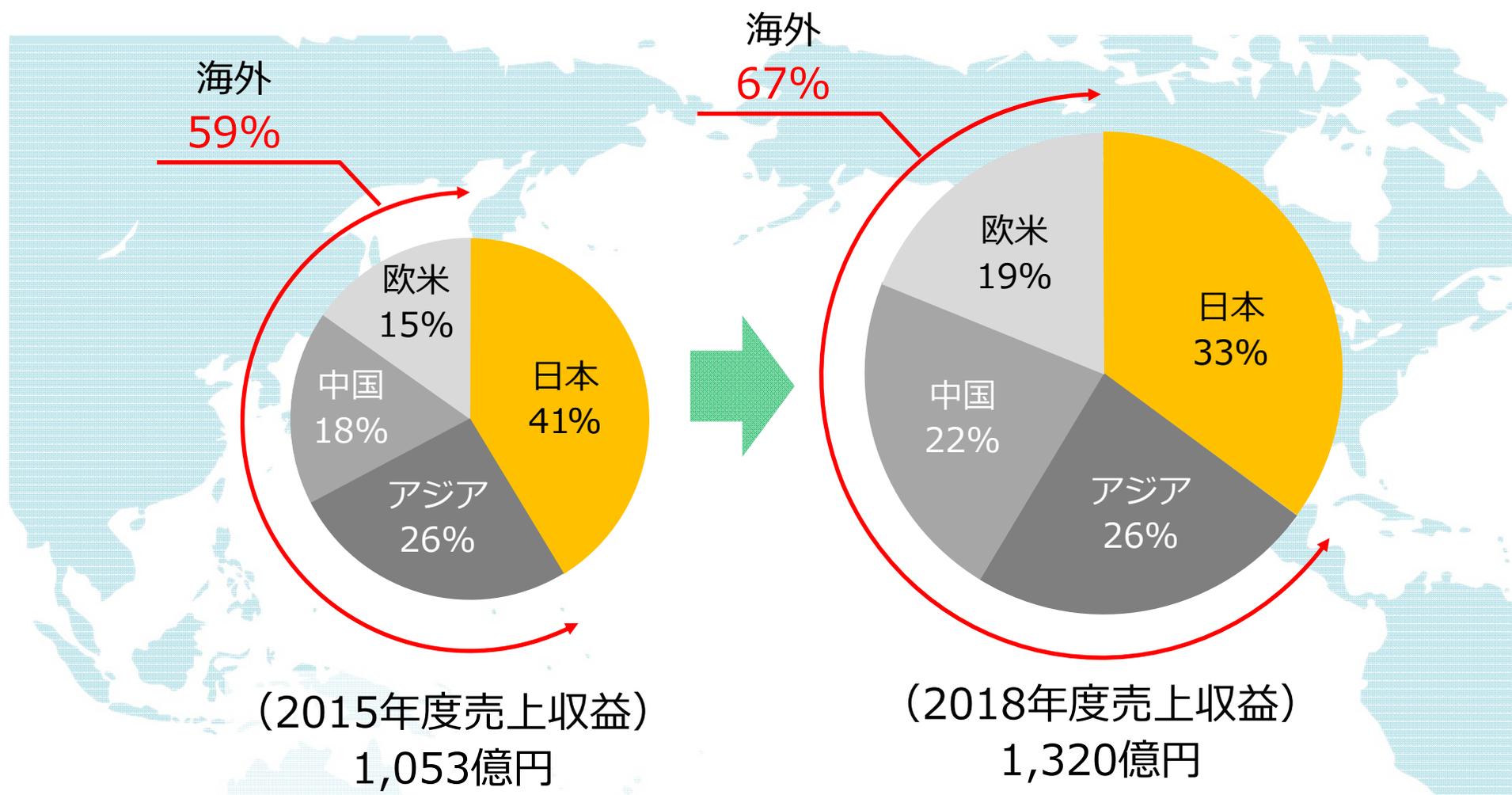


4-1. 業績推移



4-2. 地域別売上推移

中国・欧米市場での売上拡大

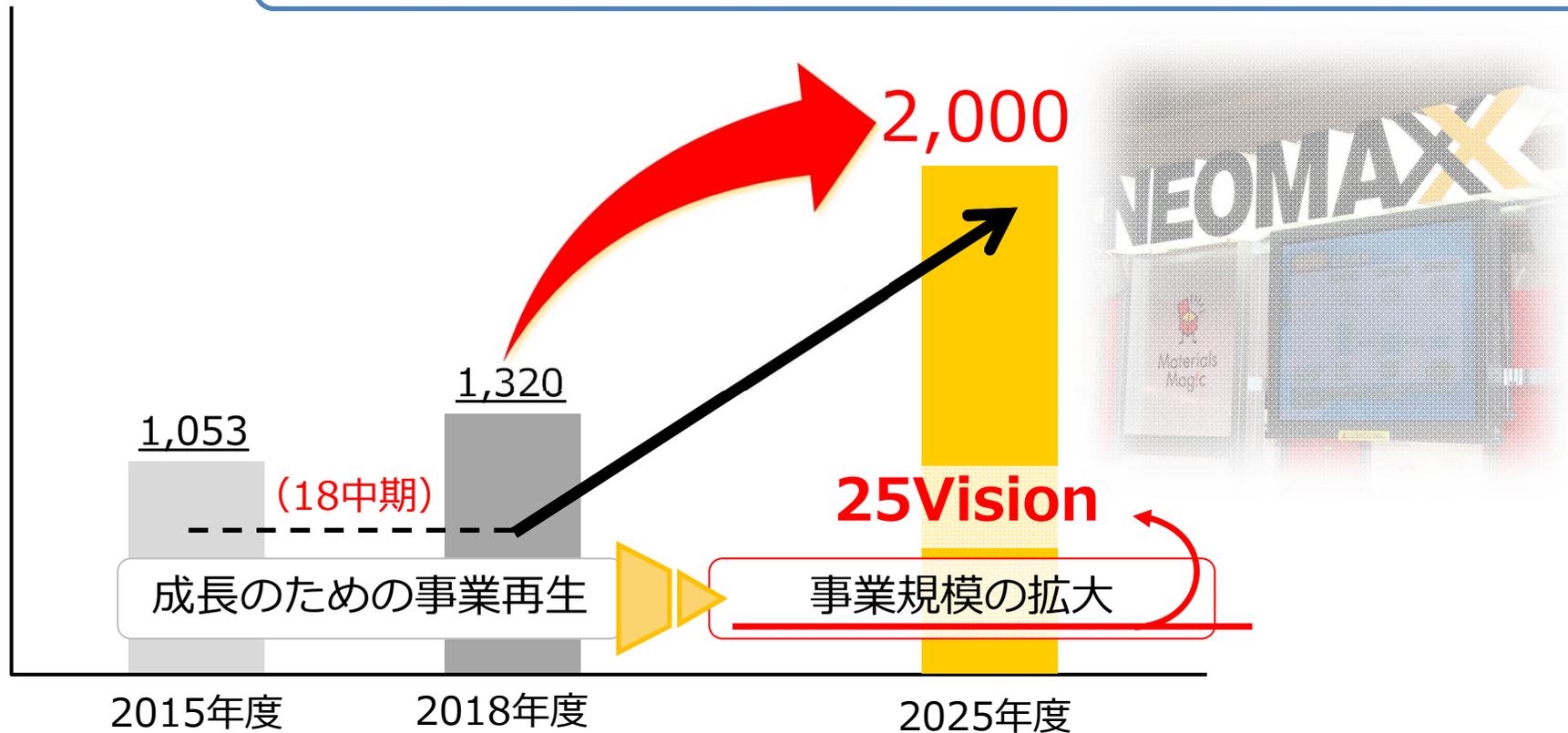


4-3. 2025ビジョン

「革新」した事業基盤により大きく成長

eco社会に貢献する世界のリーディング磁石カンパニーへ

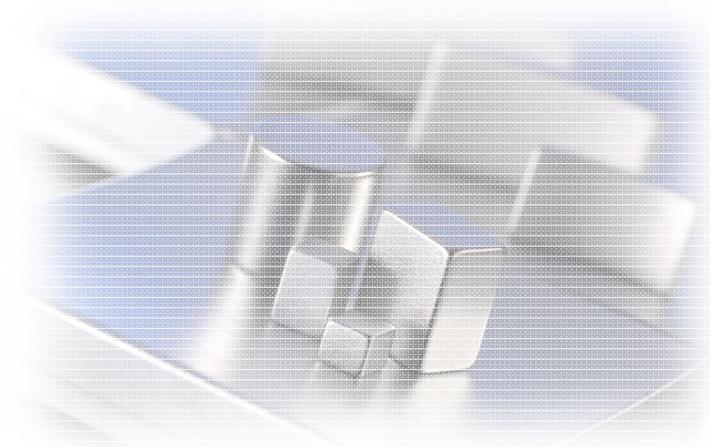
売上収益
(億円)



磁性材料カンパニー事業戦略

[目次]

1. 事業概要
2. 市場環境
3. 戦略・アクションプラン
4. 業績推移・目標
5. まとめ



磁性材料カンパニー

モノづくり体制を「革新」し、成長への道筋づくり

2018年度 計画	
売上収益	1,320億円
調整後営業利益 (調整後営業利益率)	170億円 (12.9%)
海外売上比率	67%

将来の見通しに関するリスク情報

本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となるもの主なものは次のとおりです。

- ・主要市場(特に日本、米国、アジア、欧州)における経済状況および各種規制
- ・急激な技術変化
- ・競争優位性および新技術・新製品の開発・事業化を実現する当社および子会社の能力
- ・製品市場、製品市況の変動
- ・為替相場の変動
- ・国際商品市況の変動
- ・資金調達環境
- ・製品需給、製品市況、為替相場および国際商品市況等の変動に対応する当社および子会社の能力
- ・自社特許の保護および他社特許の利用の確保
- ・製品開発等における他社との提携関係
- ・日本の株式相場の変動



Materials Mag!c
日立金属